

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年十月度 入選句（投稿総数二千十四句・小中生投句数千三百二十一句）

### 特選

選者 白井 静子

だれのあとブランコゆれる秋の夕 大垣市 下村 樹奈(小六)

だれが最後に乗ったのでしよう、ブランコがまだ揺れています。「早く帰つて。」と呼ばれて、あわてて帰って行ったのでしようか。公園のブランコが乗り手のいないままに揺れています。もしかすると、秋の風が揺らしていったのかも知れません。「だれ」の言葉からそれが想像されず。

ブランコだけが揺れている様子と秋の夕方の少しさびしい感じがとてもよく合った俳句です。

金色の稲穂がさそう帰り道 安八郡輪之内遠藤 安悠(中二)

暑い夏が過ぎ実りの秋を迎えました。田んぼの稲も実をたわわにつけ、頭を垂れています。その様子を「金色の稲穂」と表現したところが美しいですね。

「帰り道」は通学路なのでしょう。一日の学習や部活を終え、家路を辿る作者。「お疲れ様。今日も一日よく頑張ったね。」と語りかけるような稲穂。秋の実りを身近に感じ、自分の中にも充実感が湧いてくるような素敵な一句になりました。

赤とんぼ全員いっしょによーいどん 大垣市 芦野 涼也(小三)

秋が深まると赤とんぼも群れをなして飛んできます。時には風を受けて空中で静止している姿も見られます。作者はそんなふうに静止していた赤とんぼたちが一斉に飛び出したところを見たのでしよう。エンジン全開で止まっていたとんぼがスタート！F1レースのように次々と発進する。かけっこの「よーいどん」のように。

運動会での体験を、今見たとんぼの姿に重ねて表現したところがよいです。

### 秀逸

空たかくしましまもよういわしぐも 大垣市 井上 敦貴(小二)

いつてきますドアをあけたらあきのそら 大垣市 せきや いぶき(小二)

ススキたちかぜのとのさまにおじぎする 大垣市 せきや こうすけ(小二)

うんどう会走って走って一位とる 大垣市 田中 渉(小三)

ぎんなんでにおいのこったわたしの手 大垣市 日比 祐里(小四)

運動会係の仕事で走ってた 大垣市 西脇 脩斗(小五)

焼きサンマ遠くの方までにおいする 大垣市 安田 絢賀(小五)

ただいまと一緒に入る秋の風 大垣市 近藤 芹香(小六)

パーカーを起きてすぐ着る秋の朝 大垣市 武藤 亜実(小六)

ともだちとたいこたたいて秋祭り 大垣市 中嶋 彩(小六)

入選

トノボさん田んぼの上でうんどう会 大垣市 吉田 真優(小二)  
 おちばさんかぜにふかれてはしってる 大垣市 内藤 雅貴(小二)  
 あきまつりみんなできょう力みこしつる 大垣市 小塚 允寛(小二)  
 たまいれであきぞらめがけなげいれた 大垣市 高木 康作(小二)  
 こおろぎがみんなでないてなかまよぶ 大垣市 奥田 勘太郎(小三)  
 おいしいな今日のごはんはしんまいだ 大垣市 金森 早紀(小四)  
 いわしぐも家族そろってお引っこし 大垣市 重久 和真(小四)  
 虫たちがリンリコリンリン大がっしょう 大垣市 近藤 勇之介(小四)  
 つゆ草は白いおひげをはやしてる 大垣市 古田 晏寿(小四)  
 つゆ草は負けない色だ空の色 大垣市 安田 あずみ(小四)

入選

やきいもだ甘いにおいですぐわかる 大垣市 安藤 美空(小五)  
 運動会天までとどいた赤の声 大垣市 田中 亮成(小五)  
 運動会まえで体そうてれくさい 大垣市 安東 奏(小五)  
 秋風におされて走る全力で 大垣市 吉岡 舜将(小五)  
 行き帰りかおりただようきんもくせい 大垣市 河合 里奈(小六)  
 マーチング空までとどけ秋の風 大垣市 藤田 亮祐(小六)  
 一番でゴールテープ切る運動会 大垣市 板垣 香穂(小六)  
 にゆうどうぐもわりばしさしてたべたいな 大垣市 草野 隼人(四才)  
 登校はんあせかきながら副リーダー 大垣市 北島 達樹(小五)  
 ねてるのにあせびっしよりで目がさめた 大垣市 伊藤 歩夢(小三)

選者吟

新米を炊ぐ厨に朝日影

静子